

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 校内生徒アンケート調査における規範意識やいじめにかかわる項目において、肯定的回答率が前年度を上回り、いずれの項目も90%を超える高い値を示した。また、学校で認知したいじめも解消されている。一方、新たに不登校になった生徒は増加しており、「生徒理解とカウンセリングマインドを基盤にした相談活動」をさらに重点的、継続的に取り組んでいく必要がある。今後も、規範意識の醸成といじめの未然防止・早期発見・早期解決、一人ひとりの生徒に向き合った生活指導に取り組んでいく。
- 3年生チャレンジテストにおける標準化得点の同一母集団での比較では前年度を下回ったが、全国学力・学習状況調査においては全国平均を上回り、1・2年生のチャレンジテストにおいても大阪府平均を大きく上回っている。授業アンケートや校内生徒アンケート調査における学習内容の習得や授業の工夫など、肯定的回答率が前年度を上回った。今後も、基礎基本の定着を図るとともに、ICTを活用した授業内容や授業形態等を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った学習指導をとおして生徒の学力・体力の向上に取り組んでいく。
- 基本的生活習慣に課題が見られ、生徒アンケート調査で「朝食を毎日食べている」と回答した生徒の割合は全国平均を下回っており、継続した取組が必要である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「もし、いじめがあっても、先生たちは適切に対応してくれる」の項目について肯定的回答率を95%以上にする。
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「学校は楽しい」の項目について肯定的回答率を85%以上にする。
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的回答率を80%以上にする。
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「学校や地域でしっかりあいさつをしている」の項目について肯定的回答率を95%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度のチャレンジテストにおける標準化得点を、平成28年度より向上させる。
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「先生たちは、授業をわかりやすくするために工夫している」の項目について肯定的回答率を85%以上にする。
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について肯定的回答率を90%以上にする。
- 平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における向上点が、全国平均を上回るように取り組む。（体育実技授業時、部活動、運動的行事等に基礎トレーニングを取り入れる等）
- 平成32年度末の校内生徒アンケート調査における「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について肯定的回答率を95%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を93%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「もし、いじめがあっても、先生たちは適切に対応してくれる」の項目について肯定的回答率を前年度より上昇させる。
- 年度末の校内調査における「学校は楽しい」の項目について肯定的回答率を80%以上にする。
- 年度末の校内調査における「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的回答率を75%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校や地域でしっかりあいさつをしている」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 年度末の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である持久走の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

- 年度末の授業アンケートにおける「学習内容の習得」の平均得点を、前年度より向上させる。
- 年度末の校内調査における「先生たちは、授業をわかりやすくするために工夫している」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。

【その他】

- 年度末の校内調査における「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。
- 年度末の校内調査における「体育大会・文化祭などの行事で、わたしが力を発揮し活躍する場がある」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立桜宮中学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・地域・家庭）の実現】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を93%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査における「もし、いじめがあっても、先生たちは適切に対応してくれる」の項目について肯定的回答率を前年度より上昇させる。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校は楽しい」の項目について肯定的回答率を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的回答率を75%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校や地域でしっかりあいさつをしている」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>個々の生徒の規範意識や社会性の醸成に努めるとともに、規律ある集団の育成に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「授業態度」「時間」「服装」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合をすべて93%以上にする。 ・校内調査における「学校や地域でしっかりあいさつをしている」の項目について肯定的回答率を96%以上にする。 	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>個々の生徒の生活実態を把握することにより生徒理解を深め、それぞれの生徒に応じた課題解決に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「もし、いじめがあっても、先生たちは適切に対応してくれる」の項目について肯定的回答率を91%以上にする。 ・校内調査における「先生たちは、わたしたちの心配ごとや悩みごとに気づき、相談に応じてくれる。」の項目について肯定的回答率を80%以上にする。 ・校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>人権教育を基盤に道徳授業をはじめとする全ての教育活動を通じ、人を思いやる気持ちや仲間を大切にする心など道徳的心情を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「人の立場を考え、相手を思いやることができる」の項目について肯定的回答率を93%以上にする。 ・校内調査における「学校は、一人ひとりの子どもを大切にしたい教育を進めている。」の項目について肯定的回答率を91%以上にする。 	

取組内容④【施策２ 道徳心・社会性の育成】 外部人材を活用した体験的な学習を取り入れ、将来に夢や目標を持って学習する生徒を育成する。	
指標 ・校内調査における「将来の夢や目標を持っている」の項目について肯定的回答率を 80%以上に する。 ・校内調査における「学校は楽しい」の項目について肯定的回答率を 80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
下半期への改善点	

大阪市立桜宮中学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</p> <p>○年度末の校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より向上させる。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である持久走の平均の記録を、前年度より向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○年度末の授業アンケートにおける「学習内容の習得」の平均得点を、前年度より向上させる。</p> <p>○年度末の校内調査における「先生たちは、授業をわかりやすくするために工夫している」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>生徒一人ひとりの学力を把握し、習熟度別少人数授業、研究授業等に積極的に取り組む中で指導方法の工夫・改善を図り、より「わかる授業」を実践し、学力の向上に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ・中学校チャレンジテストにおける正答率が市平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。 ・中学校チャレンジテストにおける正答率が市平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。 ・2 学期末の授業アンケートにおける「学習内容の習得」の項目について、平均得点を 3. 3 6 点以上にする。 	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導方法の改善や ICT の活用により、生徒の学習意欲が高められる授業の改善・工夫に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について肯定的回答率を 88%以上にする。 ・校内調査における「先生たちは、授業をわかりやすくするために工夫している」の項目について肯定的回答率を 92%以上にする。 	
<p>取組内容③【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>保健体育科の授業や体育的行事において、生徒が自主的に企画、運営できる工夫を図り、生徒が自ら運動に取り組もうとする意欲を高め、体力の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業において、持久走の記録で本校前年度の平均記録を上回る。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
下半期への改善点

大阪市立桜宮中学校 令和元年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【その他】 学校の年度目標 ○年度末の校内調査における「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。 ○年度末の校内調査における「体育大会・文化祭などの行事で、わたしが力を発揮し活躍する場がある」の項目について肯定的回答率を前年度より向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 「食育通信」や食育教育を充実させ 食を大切にし、朝食を毎日とる習慣を身につけさせる。	
指標 ・校内調査における「朝食を毎日とる習慣が身についている」の項目について肯定的回答率を 86%以上にする。	
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 生徒が主体となった学校行事・学年行事に取り組む。	
指標 ・校内調査において、「体育大会・文化祭などの行事で、わたしが力を発揮し活躍する場がある」の項目について肯定的回答率を 90%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
下半期への改善点